2020年7月18日 (以前の月例会発表) Quick Index

今月もオンラインミーティングなり、早４回目となりました。 更に新たな方々の参加をいただきまして本日も多くの発表、紹介がありました。

豪華な作りの大きな犬小屋？いや自転車や犬用バギーを収納する小屋の紹介(Daltonさん)

サイズW１,２００xD２,０６０xH１,２００、扉はレイズドパネル、扉の枠の接合には アリ組（見えないけど）を用いている。
塗装には、神社の建物にも使用されているという防腐塗料を使用。約３千て１万円強するそうです。
ちなみに、飼われているほか小さいワンちゃんたそうです。

自作木製バイスの紹介(竹内さん)

小さな材を手元で作業する為に製作されました。コンパクトで金属製と違い軽量なので使い易いとのことです。

かまち組の箱（杉田さん）

鎖板（羽目板）を入れるための溝加工方法。
接ぎ合わせる２枚の板は、山折りにして一緒にかんなをかけることで、かんなが少し持っていても戻したときに２枚の板は平らになる。
長い材を接ぎ合わせる場合は、中程にかんなを１～２回かけ「中スキ」にして接着すると良い。
たくさんの木工技術をご紹介いただきました。

トリマーテーブルの便利な装備（ＳＵＧＡ５６さん）

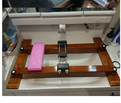
トリマービットの大きさに合わせて集塵ボートの開口寸法を可変出来るフェンス。
フェンスの飛行き方向ストッパー、薄板を広げる時など、予めフェンスの移動距離を設定しておくのに便利なストッパー治具。
溝加工時など、材を途中でとめるる要があるときに便利なストッパー治具。テーブルの外にもストッパーを設置できる。
ストッパー治具の着脱は、取付けネジを外さなくても可能。
あらゆ治具を使用するとき集塵ボート。まるでサッカーゴールの様です。

いつみても美しい箱に新作登場（梅村さん）

牛革などを使用した新作。座ると長くして薄板に、男性にも使ってもらえるデザインにしたとのこと。
木枠部分は、角のある仕上げ と Ｒの面取りで優しいイメージで仕上げたものがある。容器気が変わります。（最後の写真）

トリマー用の自作ベース（矢頭さん）

人工大理石を正確に削り出して製作した自作トリマーベース。
アルミフレームで自作したトリマーガイドと合わせて使用します。
ワークベンチのツールホルダー、作業中の ノミ等の一時置きにとても便利です。
洗面所で使う研修台、プリント部分の両端には水切り用の溝があります。
更に人工大理石で作った自作サークルカッター治具を取付けたトリマーでのスピーカーボックス製作をご紹介いただきました。



学校教材のご紹介(伊藤さん)

製作されている学校の教材（迷路盤）、製作に使用する材をかんながけで５mm□にするときの材の固定方法をご紹介いただきました。
ベンチバイスに挟んだ板とドックホールに入れたピンで固定する。板に Ｖ型のカットを施すことで挟み込みが安定します。１０年目にして解決した固定方法とのことです。

衝撃的なデビュー作品(中田さん)

昨年のＤＩＹショウでのフォトフレームコンテスト参加作品。衝撃的な作品でした。
製作の時は、メーブルの一枚板を縦引きガイドを用いて手のこで引き割ったとのこと。とても固くて一日のこを引いていたそうです。
自宅の修繕、玄関扉に額縁（飾り縁）を取付。修繕のために電気工事士もとりました。

工房紹介(松島さん)

木工旋盤からはしまりグラインダー、バンドソー、ディスクサンダー・・・たくさんの電動工具があります。
電動工具の作業台は、強度込まなくても手元が良く見えるＷ９０ｃｍ品さにしてあるとのこと。
自作のかんな盤はフェンスを移動させることができ、角度を付けた材でも削ることができます。
糸鋸盤には切削屑を飛ばすかさなファンが取付けてあります。
スマホを使った撮影ボックスもご紹介いただきました。